

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより



有権者としての「自覚」
参院選前に北条高校で模擬投票

鵜野飛行場跡地の取得を可決 (P9)

- 質疑・一般質問 (P2~7)
- ホテル誘致のための優遇策など6月の議案 (P8~9)
- 【特集】市議会のしくみ (P10~15)

8

2016
NO. 148

6月定例会

質疑・一般質問

6月13日、14日の本会議では、質疑4名、一般質問10名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(8月下旬掲載予定)にてご覧いただけます。



北条鉄道活性化について

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 昨年北条鉄道は、播州鉄道加古川線北条支線として開通100周年、第3セクター北条鉄道の開業から30周年という大きな節目の年を迎え、様々な記念事業が行われた。今年度のイベントについて。

答 乗客増を図るため各種イベントを企画しています。
去る4月3日には第4回北条鉄道さくらまつりを開催し、7月には恒例の第18回かぶと虫列車を実施する予定です。

また、今年度初めての取り組みとして、7月末から8月にビール列車を運行予定です。その後、10月にはさつまいも堀り体験や、北条の宿はくらんかいにあわせた北条鉄道まつりを、12月から1月にかけては、各駅でのイルミネーションとサンタ列車・おでん列車などを企画しています。

問 北条鉄道は本来公共交通という役割があり、現在加西市では公共交通不便地域への地域主体型交通の導入推進計画がある。

以前もお願いしたが、北条鉄道を利用して北条町駅に着いても、バス停の場所や出発時刻等が非常にわかりにくく、駅に置いてある、北条鉄道利用者が使える加西病院までのコミバス無料チケットの案内もできていない。是非、市民に定着するよう、しっかりアナウン

スをしていただきたい。

答 指摘を受け、バス・タクシーの乗り場案内を、駅到着時に正面となる所に2枚掲示したところ。3月の中頃から実施していた運転手による到着時のアナウンスは、運輸局の保安監査において「運転業務外」との指摘を受けたため、現在は実施していません。かわりにテープで流す準備を進めており、間もなく開始されます。

要望 駅員によるアナウンスもできる。人員の問題もあるが、可能な時だけでも実施し、継続することが乗客へのサービス向上に必ずつながると思う。

■その他の質問項目

・市制50周年記念行事について

加西市の今後の農政について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 平成 30 年度からの減反政策廃止による影響について。

答 特に主食用米に対して、生産力の高い他府県からの販売攻勢が懸念されます。兵庫県はエリアを 6 つに分け、うるち米・酒米のほか、地域作物も含めた魅力ある産地づくりを検討する予定です。

問 山田錦の増産を奨励していた補助金を今年度打ち切った事情について。

答 県下の農協は、受け入れた量を全量出荷できずに在庫を抱えている状況です。販売戦略に基づいた生産計画を立てる時期に来ていると考えます。

問 オランダ式の最新施設園芸技術を導入した「鶏野トマトハウス団地」を生かして、農協や民間企業と連携しながら、ICTを活用した施設園芸を普及させるとともに、同技術を研究する大学や研究機関に絞って誘致を働きかけてはどうか。

答 トマトハウス団地は昨年 10 月から収穫を開始し、計画通りの収穫実績があがっています。市内農家も熱心に研修・情報交換されており、新規に施設園芸を試みる農業者に支援をしながら普及に努めたいと思います。

また、同施設で培ったノウハウをもとに、大規模施設運営の研究を進めているところであり、研究

機関の誘致を検討していきたいと考えています。

問 今後の農業のあり方に対するビジョンについて。

答 (市長) 30 年度からの減反政策廃止が、加西市にとって大変な状況を招く可能性があると思っています。現在加西市には農業ビジョンと言えるものがないため、今からしっかり作って、将来農業が成り立つようにしたいと考えます。

今までも農水省のビジョンに積極的かつまじめに取り組んできた加西市であればこそ、方向性さえ定めればやっていけるものと考えています。

■その他の質問項目

- ・土地の規制緩和等について
- ・観光政策について
- ・子育て支援施策について

小学生、中学生、高校生の通学道の整備計画について、ほか

一般質問



衣笠 利則 議員
(21 政会)

問 県道 81 号線西長町の歩道の工事計画についてどうなっているのか。

答 地図訂正を平成 29 年度中に終え、平成 30 年に着工予定です。

問 県道 372 号線東剣坂町の拡幅工事について。

答 北東側を拡幅するように、県と地元の協力を得ながら進めていきたいと考えています。

また、市道山下鎮岩線の西横田町の拡幅工事については、平成 31 年度までに完了したいと考えています。

地域公共交通の考え方について

問 高齢化社会が進むなか、賀茂地区（特に大柳町から福住、岸呂町）の公共交通の計画について。

答 地域の方々と連携しながら、地域主体型交通の導入を目指していきたいと考えています。

意見 乗り継いで目的地まで行くような形だと、利用しづらくなり、特に高齢者には負担になると思います。公共交通審議会でも検討していきたいと思っています。

公共施設の防犯カメラの設置計画について

問 近年、犯罪も多様化しており、先般他市で市役所に可燃物を持ち込み、放火をしたという事案が発生しておりますが、本市では公共の施設の安全対策、防犯カメラの設置計画はどのようになっているか。

答 市役所、福祉会館については、設置に向けて対応したいと思っています。また、病院関係については、病棟も入れますと、31 台設置していますが、今後、駐車場については、録画機能を有したカメラへの取りかえを検討しているところです。

加西市定住促進の方策について

一般質問



織部 徹 議員
(21 政会)

問 中国道泉バス停の駐車場ができて以来、高速バスの利用者がふえているように思う。

阪神間や大阪方面への通勤は、加古川駅や宝殿駅などへ自動車で行き、そこから電車で通う方法がある。しかし、営業の仕事をしていたりすると、飲酒の機会も多いため、そのまま自動車では帰ってこられず、通勤としては成り立たないこととなる。そこで、かわりに高速バスを利用することで通勤できるようになるのではないかと考えています。

現在、泉バス停の始発（6時40分）を利用した場合、千里ニュータウンから地下鉄で大阪の中心街といえる天満橋や谷町辺りまで行くと、大体8時30分ぐらいになり、8時始業の会社へは通うことができない。

大阪に通えるとなれば、ベッドタウンとして加西市に住むという人も出てくる。駐車場のある加西市役所やアスティアかさいを活用して、そこを午前5時40分ぐらいに出発し、泉バス停を6時前に通過することができたらと考えるのがいいかと考えています。

答 中国道泉バス停の利用状況は、平日には10～15台、休日にはほぼ満車を確認しています。高速バス利便性の向上と利用者増加につながり、効果があつたと確信しています。

そして、加西発高速バスの始発を早くすることは、加西市に住みながら大阪方面への通勤を実現し、定住促進に大きな利点があると考えています。

問 アスティアかさいや加西市役所から、30分以上早い時間にバスを出すことを、市として要望していただけるかどうかお聞きしたい。

答 始発時間を早めるようにバス事業者へ要望することは、加西市にとっても大変メリットがあります。利用者の協力をはじめ、いろいろな方のお力添えを賜りながら、事業者への働きかけを行っていきたく思います。

■その他の質問項目

- ・ 震災等による避難施設について

小中学校プール関係について、ほか

一般質問



原田 久夫 議員
(21 政会)

問 加西中学校プールの移設整備について。

答 場所的に誰が見ても好ましくないことに加えて、排水が近くの農家に迷惑をかけている状況です。プールの在り方検討会でも結論が出たため、早期に取りかからなければと考えています。

地震災害の対策について

問 地震対策、防災への取り組みについて。

答 防災対策は平時からの備えが重要であり、加西市地域防災計画及び水防計画を策定して

います。内容を随時更新するとともに、一番重要である職員の行動、避難所への即応対応についてマニュアル等を整備し、職員への認識を徹底しているところです。

問 救援物資、資機材備蓄状況について。

答 市役所、富合会館、消防署施設、善防公民館、南部公民館に備蓄しています。必要な物資全てを公共施設に確保するには、スペース的にも予算的にも難しいため、市内の民間事業者から協力を得て流通業者と協定を交わし、流通備蓄という形で確保しています。市役所でも今後予算を確保して増設していきますが、各家庭における自助努力が必要とされるところです。

問 鶴野飛行場跡地を、①市民の防災訓練場、②消防団の

訓練施設、③播磨総合防災基地として整備してはどうか。

答 飛行場跡地の北側を防災ゾーンとして、備蓄倉庫、飲料水の貯水槽、災害時のマンホールトイレ等を整備する計画です。また、提案いただいた、①市民の方の防災訓練場、②消防団の訓練場としての活用は十分できると考えますが、③広域的な防災基地としては、今後の課題として検討していきたくと思います。

■その他の質問項目

- ・ 小中学校プール関係について
 - プールの在り方検討会について
 - プールの現状について
 - プールの維持管理について
- ・ 地震対策について
 - 避難所関係について
 - 避難施設耐震化について
 - 避難所運営計画について

業務継続計画（BCP）について

一般質問



長田 謙一 議員
(21 政会)

問 加西市の業務継続計画（BCP）の現状について。

答 災害時において、地方自治体は災害応急対策活動や、復興・復旧の活動主体として重要な役割を担っており、地域住民生活に不可欠な通常業務を継続することが求められている。

業務継続計画（BCP）とは、行政職員も被災し、人物・情報等に制約がある状況を想定した業務計画である。具体的には、庁舎が破壊または倒壊し、多数の職員が被災した状況で、いかに自治体業務を継続的に執行するかを定める計画である。

内閣府が示す業務継続計画（BCP）の指針では、①首長不在時の明確な代行順位及び職員の参集体制、②本庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定、③電気・水道・食糧等の確保、④災害時もつながりやすい多様な通信手段の確保、⑤重要な行政のデータのバックアップ、⑥非常時優先業務の整理が中核6要素とされている。

加西市では、災害対策基本法に基づいて地域防災計画を策定しているが、これは、減災を防災の基本理念として、被災しても人命が失われることがないことを最優先に策定しているものである。前述の6要素のうち①④⑤は確立しているが、現在のところ業務継続計

画として個別に作成はしていない。

問 新聞アンケート調査における、「人手不足で着手できていない」との回答について。

答 そのような文言で文書回答をしたわけではないが、取材のやり取りの中で担当者が述べた言葉が、前述の表現で記事になったものと推測する。

「人手不足を理由に着手できない」とする記事が、職務への意欲も含めて悪影響を及ぼしていると認識しており、今後の取材等では誤解を招くことのない言葉で回答するよう留意したい。

■その他の質問項目

- ・産業・工業団地の整備について
- ・魅力ある観光まちづくりについて

「ミライナカ」と都市計画について

一般質問



深田 真史 議員
(加西の新しい未来を創る政策研究会)

問 市道鶉野飛行場線の工事について。

答 鶉野飛行場線は、平成27年度から31年度までの5カ年で県道玉野倉谷線から県道三木穴栗線を結ぶ路線を整備する予定です。延長にして2,450mあります。

今年度、鶉野飛行場滑走路跡の南端から市道中野家塚線までの用地買収と工事を考えています。また、中野家塚線から北側の県道三木穴栗線までの設計や現地調査・測量も予定しています。平成31年度の供用開始を目指しています。

問 市道豊倉日吉線の工事について。

答 豊倉日吉線は、鶉野飛行場線のちょうど北側にあり、三木穴栗線から市道繁昌玉野線までを結ぶ路線で、距離にして2キロあります。道路用地は圃場整備のときに確保できており、できるだけ早い段階で整備したいと考えます。

現在、認可申請中であり、来年度より国の社会資本整備交付金を活用し、鶉野飛行場線と並行し、事業実施したいと考えます。平成32年度の事業完了・供用開始を目標に進める予定です。

問 市道玉丘常吉線の道路修繕について。

答 路面の損傷は、できるだけ早く整備したいと思います。

問 加西インターからフラワーセンター前交差点にかけて

「土地活用促進地区」に指定されている。しかし、実際に規制緩和されているのは、JA本店南側の一部で限定的。その枠を広げ、活用が進めることができるか。

また、この地域から鶉野飛行場にかけて（三木穴栗線～市道中野家塚線）も促進地区に含めることは可能か。

答 促進地区は民間事業者による開発を誘導し、土地活用を行う地域です。豊倉町は店舗面積を1,500平米で規制緩和していますが、問い合わせが来ても、非常に大型の店舗などの内容でここに合わないものです。引き続き、民間事業者や不動産業者に周知していきたいと考えます。

また、促進地区を指定するにあたり、地元の要望があれば市の都市計画審議会で審議し、新たに地区指定することは可能です。

加西の活力・インター周辺開発について

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

インター周辺産業団地の整備について

問 市の活性化と地域経済・産業の活性並びに働く場の拡大と人口増には、インター周辺の開発整備が喫緊の課題である。インター周辺の限られた区域だけでなく、少し幅を広げた区域（可能ならばゴルフ場も区域とする）の総合的な土地利用を考える必要がある。

既存の産業団地はすでに満杯となり、新たな産業団地の問い合わせがたくさんあるなか、新しい産業団地の整備の緊急度が高いようである。

新しい産業団地を整備するには、相当数の人員と財源と期間が必要であることは重々承知しているが、地方創生、市の活性化、地域経済・産業の活性化そして最重要課題の人口V字回復のために、既存施設の用途変更による整備期間の短縮等あらゆる手法を駆使し、是が非でも早急に整備すべき命題である。

都市部には、敷地面や交通渋滞、従業員の福利厚生、南海トラフ地震の津波の不安等々の課題で、自然豊かな交通の便の良い産業団地に会社ぐるみで移転したいと考えている企業もあるはず。そうした優良企業を社員も含めて、丸ごと受け入れ可能な産業団地と住宅団地を提供できれば、夢のある未来が描かれると考える。

都市部の優良企業を社員も含めて丸ごと市内に移転誘致する可能

性はあるか。

答 都市部の優良企業が社員とともに市内に移住して、移転していただけるということは、本当に大変歓迎するところでございます。こういった移転の申し込みや相談がありましたら、積極的にかかわり、支援も含め誘致の実現に向けて協力を惜しむものではないかと考えています。

要望 企業ぐるみの移転事例はある。そういう企業を探し出す努力をぜひともお願いする。そして、自然に囲まれ、広く従業員の住宅団地も含めた産業団地の早期整備を期待する。

■その他の質問項目

・北条会館（仮称）の整備について

播磨国風土記事業（薪能）について

一般質問



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 興行成績の検証結果について。

答 来場者は総数約 1,300 人、業務委託料・演者出演料・広告宣伝費・シャトルバス・各種保険等その他も含めた総支出額は 1,374 万 9,529 円です。

演目をはじめ、地元の竹や松を使った舞台演出や、根日女ゆかりの玉丘古墳で上演できたことがよい雰囲気につながり、成功であったと考えます。

問 反省点と今後の課題について。

答 舞台の高さが低かったため客席から見えずらく、また、入れかえの整理券システムがわかりづらかったことが反省点であり今後の課題です。

今後は、市制 50 周年記念事業と市民会館リニューアルオープンをあわせた開催を検討しており、その場合は、天候による中止もなく、舞台装置やシャトルバス等の運営経費が削減できます。また、何年間に 1 回は、玉丘史跡公園での屋外開催も検討しています。

問 市内企業から多くの寄附をいただきながら、業務委託費だけで 740 万円近くをかけてまで続ける必要があるのか。市職員 82 名の休日出勤による運営や、17 名の狂言塾だけに 300 万円、広報 PR に約 200 万円も使用するの疑問だ。

答 昨年の 1300 年祭を一過性にすることなく、加西市の文化として伝えるという大きな目標の中で、加西市への思い（シビックプライド）が育まれていくことも期待して、一歩ずつ進めていきたいと考えています。

意見 1 円たりとも税金を無駄にしてほしくない。薪能や風土記事業は、加西市のブランド化や新たな産業・文化育成、地域の活性化に全くつながっていない。これだけ多くの予算をつぎ込んでも、果たして本当に加西市への移住や定住につながるのか疑問だ。

■その他の質問項目

・5 万人都市再生（人口増）について
・加西市における就業と地域振興について
・加西市において食える農業策について
・子育て世代や若者が集まる魅力ある公園について

地域主体型公共交通について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 平成 27 年度末に、地域主体型公共交通導入の手引きができましたが、一定の地域で説明がなされているのかお尋ねします。

答 市内の 3 地域の役員の方を中心に説明しているところです。

問 手引きの導入検討フローを見ますと、地域から相談があった場合、まず各地で実施されている地域主体型交通の事例紹介をすとされていますが、どういったところがあるのかお尋ねします。

答 県下の近くで言いますと、加東市の米田地区、加古川市の上荘地区、淡路市の長沢地区、豊岡市の奥山地区などで、地域住民が運行する地域主体型交通の事例があります。

問 直接そういったところを訪ねて学んでみたいという声も出てくると思いますが、先ほどの 3 地区に対しては事例紹介も含めてお話されているのでしょうか。

答 まだこの事例紹介までには至っておらず、何回となく説明させてもらうなかで、先進的な地区も私どもも含めて勉強し考えて行きたいと考えています。

問 課題として、現在の公共交通網につなげていくのか、直接行きたい所へ行けるのがいいのか、また、コストを地域でどう

やっていくのかなど、地域の声もしっかり尊重していただきたいと思いますが、今後の進め方についてお尋ねします。

答 地域主体型公共交通は、地域の方々を中心となり、計画、運行、利用促進においても主体的にかかわっていただく内容です。

例えば、運行車両の初期投資については、市の支援も必要ですが、実際の運行業務は地域の皆様が安定的に運営できるよう、一緒に検討し、支援していきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・多重債務問題について
- ・交通事故に関わる自治体の損害賠償事案について
- ・国道 372 号バイパスについて
- ・就学援助の拡充について

第 261 回 加西市定例会議決結果一覧

平成 28 年 6 月 3 日～6 月 22 日

■全会一致で適任と答申、同意、可決した議案

諮問第 7 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

議案第 40 号 損害評価会委員の委嘱につき同意を求めることについて

議案第 41 号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

議案第 42 号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

議案第 43 号 財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例及び加西市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 44 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 45 号 訴えの提起について

議案第 46 号 平成 28 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について

議案第 47 号 国有財産（鶉野飛行場跡地）の取得について

■賛否の分かれた議案（なし）

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

ホテル誘致

議案第 43 号 財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例及び加西市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について **建設**

ビジネス及び観光の来訪者の増加を促進し、まちのにぎわいの創出や地域経済の活性化を目的とした宿泊施設誘致のために次の優遇策を定めようとするもの。

- ① 誘致する事業者に対して、市が所有する用地を無償または減額して貸し付けできるようにする。
- ② 家屋・償却資産等に対して、以下の合計額を交付できるようにする。
 - ・ 固定資産税相当額（5 年度間）
 - ・ 年間水道使用量が 2,000 立米を超えた水量に係る水道料金相当額の 2 分の 1（10 年度間）



問 プロポーザル方式の条件に、加西市の様々な要望を付けようとしているが、ハードルを高くすると事業者が躊躇するのではないかと。また、どの程度まで協議できるものなのか。

答 プロポーザル方式は、事業者が市の基本条件を加味して提案してくるものです。事業者から、市に貢献できるような、また、市が負担しなくてよいような提案をしてもらい、プロポーザル審査委員会で提案内容を十分に議論し、市にとって最もふさわしい事業者を決定したいと考えています。なお、例え応募が 1 社であった場合でも、不十分な提案については選定しない方針です。



意見 調査を実施し、効果を検証した後の条例改正案である。万が一、応募する事業者がない事態となった場合も、今以上に優遇策を拡大することがないようにしていただきたい。

不当利益返還請求

議案第 45 号 訴えの提起について **総務**

市税滞納者が第三債務者である相手方に対して有する、不当利益返還請求権及び当該利息の支払請求権を差し押さえ、相手方に対して支払いを求めたが、期限までに納付がないため、訴えにより支払いを求めるもの。

問 消費者金融側が応じない理由と今後の見込みについて。

答 申し立てによると、「差し押さえ処分が適切な手続きを踏まずに行われ、直接差し押さえの文書が来るなど、職権の乱用である。」との主張であり、これは、加西市における過去 3 件の過払い金の差し押さえ案件と同じ反論内容となっています。いずれも市の言い分が通った形での和解を迎えていることから、今回も同様の流れを見込んでおり、現在、弁護士と相談しているところです。



補正予算

議案第 46 号 平成 28 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について **総務 建設**

【歳入】

- ・ 地域創生推進交付金（2,110 万 2,000 円）

【歳出】

- ・ 都市再生事業費（2,000 万円）
戦争史跡めぐり交流促進事業の推進
- ・ 文化財保護費（100 万円）
青野原俘虜収容所跡地の活用と交流促進
- ・ 市民参画推進費（145 万 5,000 円）
朝から元気コミュニティ創造事業委託料

問 鶉野ミュージアムの展示内容について。

答 資料館にある貴重な資料や、全国各地の未保存の貴重な資料のほか、この場所が紫電や紫電改という戦闘機をつくった工場跡地であるため、将来的にはそれらの模型等も展示できるよう検討したいと思います。





問 同様の戦争遺産を展示している他県の事例では、10数億の予算をかけた大きな資料館が建設されている。加西市としてはどの程度の規模で考えているのか。

答 他県の例などを参考にしながら、基本設計の中で考えていきたいと思えます。

問 神戸大学敷地内の防空壕は購入予定なのか。

答 用地買収ではなく使用貸借で検討しています。昨年度神戸大学との協議が整い、貸与の了解を得ているところです。

問 青野原俘虜収容所の歴史的価値について。

答 たとえ一部でも建物が残っているのは非常に貴重であり、また、ドイツにおいても、青野原の一部ではあるが、研究されている方が数名いるなど、非常に重要な戦争遺跡と考えています。

意見 建物が残存しているということだけではなく、当時、俘虜の方の知識や技術が伝えられて地域と交流が起こったことそのものを深く掘り下げることも、意味のあることと考える。



問 地方創生推進交付金について。

答 従来、地域再生法の枠組みで実施していたものに組み込まれた形で、新たに制度設計されました。加西市においても、地方創生戦略で掲げた事業をより強力に推進するために、交付金を申請しているところです。

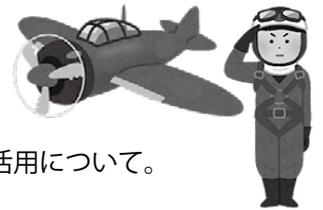
具体的には、総務費「元気なまち再生事業」、保健衛生費「歩くまちづくり推進、運動ポイント事業」、都市計画費「鶉野飛行場を活用した、戦争史跡めぐり交流促進事業」、社会教育費「青野原俘虜収容所の活用と交流促進」の4事業に充当します。

問 朝から元気コミュニティ創造事業について、ラジオ体操を中心とした健康長寿につながる事業であれば、ふるさと創造会議の立ち上げが遅れている地域のみを対象とするのではなく、全市的な取り組みとすべきではないか。

答 公益財団法人・地域社会振興財団の健やかコミュニティモデル地区育成事業メニューを活用して実施するため、市が事業主体である場合には交付対象とならないことから、まずは地域にお願いして、ラジオ体操を用いた健康まちづくりを市内全域に知っていただき、そして、加西弁のラジオ体操なども作成して市外へ発信していきたいと考えています。

本会議審議

委員会付託省略



鶉野飛行場跡地

議案第47号 国有財産（鶉野飛行場跡地）の取得について

都市再生整備計画（鶉野地区）に基づく事業用地として国有財産を取得しようとするもの。
（面積 54,187.83 平方メートル、取得価格 5,750 万円）

問 3月末までに払い下げ手続きが完了するとの説明を受け、12月議会では用地取得の予算案も議決されていた。今年2月に突然、審議会が開催されず、結果的に3カ月の遅れとなった経緯について。

答 防衛省・財務省・加西市の三者協議による行程表に基づいた、防衛省の用途廃止及び財務省への財産引き継ぎ、財務省・加西市間での公共随契に係る課題の調査・不動産鑑定・測量・分筆登記・財産取得要望等の一連事務手続きを、市は丁寧に対応してまいりました。

今回の遅延は、ただただ国有財産近畿地方審議会の開催の延期によるもので、改めて開催された審議会で、加西市への売却が適当であるとの答申後、神戸財務事務所には、過密なスケジュールのなか売り払い手続きを進めていただいていた今日に至っています。



問 今後の鶉野飛行場跡地の活用について。

答 （市長）国道372号線のバイパス化にあわせて、民間活力を取り入れた道の駅なども視野に入れながら、全国から多くの人々が訪れるような平和祈念施設として整備したいと考えています。

問 当初の取り組みから20数年を経て実現した一番の要因は、やはり都市再生整備計画をはじめとして、利用目的を明確化したことが大きいのか。

答 （市長）道路を含めた総合的なまちづくりを計画したことが、加西市による具体的な跡地活用の理解につながったと考えています。

問 保存会の皆さんが10数年かけて史跡の重要さを広く知らしめることに取り組んできたことが、貢献として大きかったのではないか。

答 （市長）将来の絵が見えないなかで、保存会等の活動には本当に心からの敬意を表し、今後よい施設をつくるのがひとつの報いになればと思っています。

討論（賛成） 安価な価格での取得は、執行者の努力の賜物である。今後、戦争史跡公園、防災拠点、国道372号線のバイパス、道の駅計画を進め、地域活性化にむけてスピード感をもって取り組むことを期待する。

市議会のしくみ

加西市をより良く住みやすいまちにするには、市民がみんなで話し合うのが最も望ましいことです。

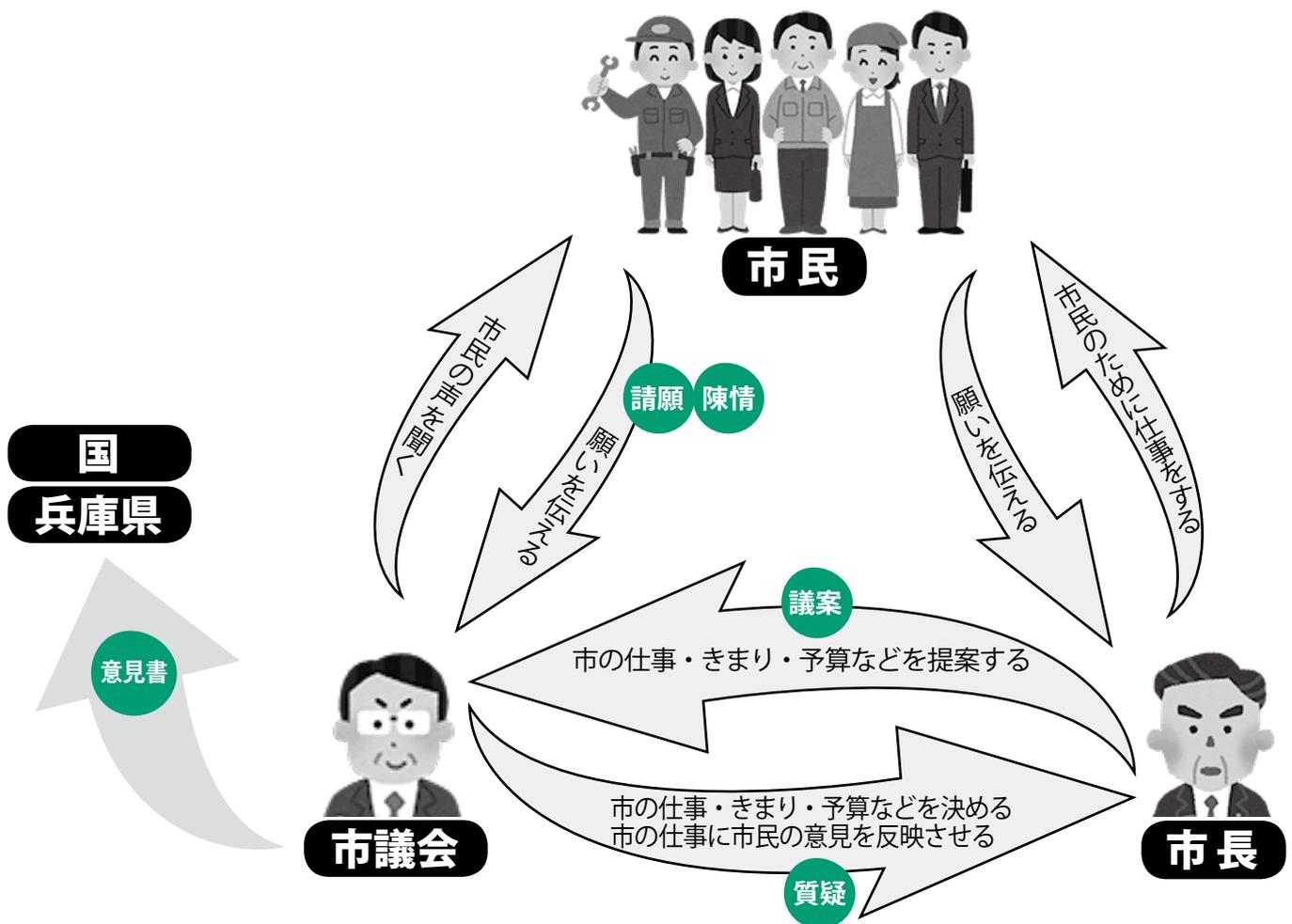
しかし、多くの市民が集まり、話し合って意見をまとめることは難しいため、市民の中から代表者を選んで、大切な決定をしてもらうことにしています。

この代表者が「市議会議員」と「市長」であり、議論する場が「市議会」です。

市議会の役割

- ・市のきまりである「条例」の決定や廃止をする。
- ・市が仕事をするためのお金「予算」を決めたり、それが正しく使われたかチェックする。
- ・市の仕事が市民のためになっているかチェックする。
- ・市民から出た意見や要望が、加西市のために必要かチェックする。
- ・住みやすい加西市のために、国や兵庫県にお願いをする。

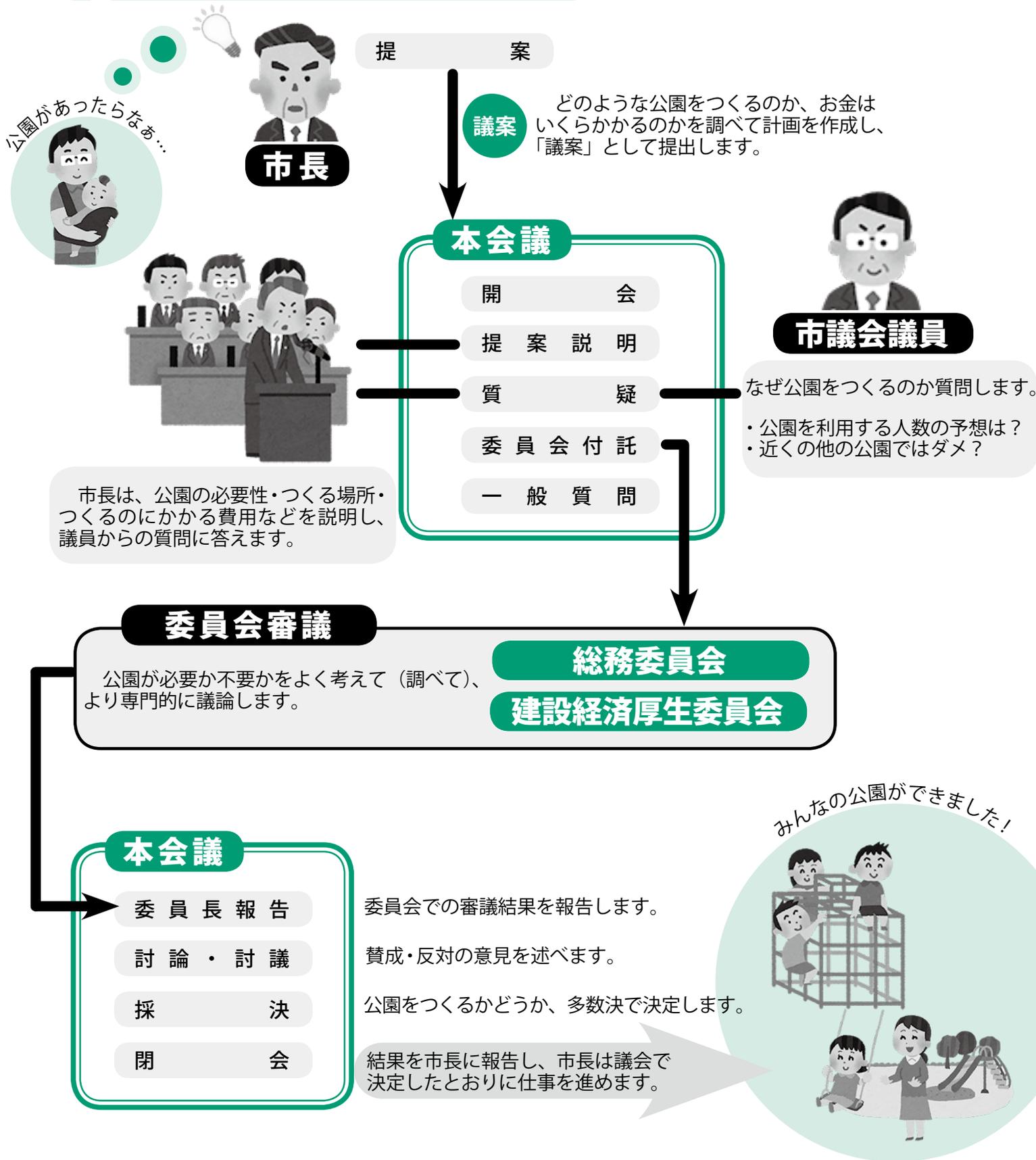
これらの市議会で決まった仕事を実行するのが市長（市役所）です。市長（市役所）は、市議会と話し合いをしながら、協力して暮らしやすいまちをつくっています。



加西市のことは、どうやって決まってくるのかな？



例 みんなの公園ができるまで



常任委員会の活動を紹介します

総務委員会

所管部署

ふるさと創造部

秘書課／人口増政策課／文化・観光・スポーツ課
ふるさと創造課／人権推進課

総務部

総務課／情報政策課／危機管理課
財政課／管財課／税務課

教育委員会

教育総務課／学校教育課／こども未来課
生涯学習課／図書館／総合教育センター

選挙・監査・公平委員会

会計室

議会事務局

今後の取り組み

今まで以上に、議案審議、予算審議、決算審議、請願・陳情等の所管事項について慎重審議を行うとともに、新たな取り組みとして、委員会でテーマを定め、政策提言できる仕組みづくりを行います。



総務委員会では、全委員協力のもと活発な意見を出し合い、人口増施策に対して色々な方向から取り組んでいます。

議案などの可否は最終的には本会議で決定しますが、市政の範囲や審議事項が多岐にわたるため、範囲を分担して、効率的・専門的に審査するために委員会を設置し、予算・条例などの議案や、請願・陳情の審査等を行っています。

建設経済厚生委員会

所管部署

健康福祉部 — 福祉企画課／市民課／国保医療課／健康課／長寿介護課／地域福祉課

地域振興部 — 管理共済課／産業振興課／農政課

都市整備部 — 施設管理課／用地課／土木課／都市計画課

生活環境部 — 上下水道管理課／上下水道課／環境課

農業委員会

市立加西病院 — 総務課／用度管理課／医事課／診療部／医療安全管理室／地域医療室
訪問看護ステーション／薬剤部／医療技術部／看護部

閉会中の活動では、設定したテーマについての政策討議を行い、その後、政策提言につなげていきます。

視察報告はこちら

P.16

深田 真史 中右 憲利 三宅 利弘 黒田 秀一 原田 久夫



テーマ 加西市の土地利用と開発整備

建設経済厚生委員会は、しんしゅかかん進取果敢（自ら進んで物事に取り組み、思い切って実行すること）を目標に活動します。

傍聴しよう！



車椅子のまま傍聴できます

ライブで見よう！



傍聴マナーにご協力ください



STEP.1 議会事務局（議会棟2F）へ



市役所・正面玄関の左手から、議会棟へ進みます。2F 事務局で「傍聴したい」と伝えます。

事務局では、
・名簿に必要事項（氏名と住所）を記載し、
・日程や審議資料を受け取ります。

STEP.2 本会議場／委員会室へ

事務局での手続きが完了したら、会議室へ向かいます。審議中の入退室は自由です。



許可制

ネット中継で見よう！

- ◎ お家でゆっくり
- ◎ 仕事が終わってから

ライブ

録画



手話通訳を頼んでみよう！

希望する本会議開催日の1週間前までに申請しましょう。



- ★ 申請書はホームページからもダウンロードできます。
- ★ FAX / Email でお送りください。

請願・陳情について

要望 意見

どうしたら
いいのかな？

市民の皆さんがお困りになっていることや意見を市に伝えたり、要望を市政に反映させる方法として、市議会へ「請願書」及び「陳情書」を提出する制度があります。委員会に付託して審議することになった場合は、請願（陳情）者は審議に出席し、説明することができます。

請 願

※市議会議員の紹介が必要です。



市議会議員

陳 情

※委員会に付託して審議するかは、議会運営委員会で決定します。

※市外からの陳情は、議員及び執行者への配付にとどめます。

請願書（陳情書）

平成 28 年〇月〇日

加西市議会議長
〇〇 〇〇

請願者 住所 〇〇〇〇〇
(陳情者) 氏名 〇〇 〇〇 印

紹介議員 議員氏名 〇〇 〇〇 印
(※請願の場合のみ)

件名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 について

請願項目（陳情項目）

1. _____
2. _____
3. _____

請願（陳情）の理由・経緯等

※ホームページから様式のダウンロードができます。

ポイント

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。また、内容によっては取り扱いできない場合があります。提出の際は、あらかじめ市議会事務局までお問い合わせください。

受理された請願・陳情（委員会に付託されたもの）の記載事項と原文（※）は一般公開となります。ホームページへも掲載されますので、あらかじめご了承ください。

（※）請願者・陳情者の住所・氏名等の個人情報を含みます。

9月定例会での取り扱いを希望される場合は、
8月24日（水）17:00 までにご提出ください。

市議会トピックス

建設経済厚生委員会

平成 28 年度 行政視察・現地視察の実施報告

パンチ穴を開けられる場合は、こちらを中心に合わせてください

4/25



兵庫県養父市

「国家戦略特別区域（農業改革特区）の取り組みについて」

「広域下水処理施設の概要について」

4/27



加古川流域下水道管理事務所
加古川上流浄化センター

7/7



網引湿原
あびき湿原保存会・会長山下さんの案内で

「環境保護活動の実践事例について」



■平成 28 年 9 月 加西市議会定例会の予定

WEB

月 日	時間	会 議
9 月 1 日 (木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
9 月 5 日 (月)	15:00	発言通告 (質疑・一般質問) WEB
9 月 9 日 (金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
9 月 12 日 (月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
9 月 13 日 (火)	10:00	本会議 (予備日)
9 月 14 日 (水)	9:00	総務委員会 (議案審査・決算審査)
9 月 15 日 (木)	9:00	建設経済厚生委員会 (議案審査・決算審査)
9 月 16 日 (金)	9:00	建設経済厚生委員会 (決算審査)
9 月 26 日 (月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (最終日：委員長報告・採決)

ぜひ傍聴にお越しください!



インターネット
議会中継
(ライブ・録画)

加西市議会

検索



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

議会だより編集委員会

委員長 中右憲利
委員 織部 徹
委員 原田久夫

副委員長 深田真史
委員 黒田秀一
委員 丸岡弘満

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp